



2021

国語

注 意

1. 試験時間は、15:20～16:10の**50分**です。
2. 問題は ㊦ から ㊧ まであります。
3. 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
4. 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
5. 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
6. 問題についての質問はうけつけません。
7. 試験が終わったら、解答用紙を裏返しにしておきなさい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

小学六年生の「ぼく」（松原知希）は島にある小学校に転校してきて、同級生の梅野正人・糸瀬英治と友達になる。ある日、英治から幽霊魚という幻の魚を釣れば大事なもの全て取り戻せるということを聞く。正人はそんな魚いるはずがないと相手にせず、知希は迷いつつも釣りを手伝った。その後、とある出来事をきっかけに正人と知希は英治とけんかをしてしまった。

石積みいしづみの突堤とつていの上には誰もいなかった。

ただあの釣り竿さおだけが、積み石の隙間すきまにさしこまれたまま、そこにあった。ぼくは、竿を手にとると、リールを巻き上げた。

海中から引き上げた仕掛けしかの先には、小魚がついていたけど、それは今まで見たことがないくらい、ふやけてぼろぼろになっていた。

I をひねった。このエサの小魚は、どう見ても何日もつけたままになっていた。

どうしようかと迷ったけど、思い切って英治の家に行ってみることにした。

自転車を相当とぼしたものだから、英治の家に着いたときには、体じゅうから汗あせがふきだしていた。

糸瀬モーターズのシャツターは全部おろしてあった。

この前来たときは半分開いていたので、何だか変な感じがした。気になって、裏口のほうに回ってみた。けれど、裏にあるドアもしつかりと鍵かぎがかかっていた。

何度かドアをたたいてみたけど、いくら待ってもなんの返事もなかった。

① 出かけてるんだらうか……。

またあとで来てみようと自転車を動かしかけたとき、ぼくは、シャツターの端はしに白い紙が一枚貼はりつけてあることに気がついた。紙には癖くせのある字で、こう書き付けてあった。

都合により転出することになりました。
皆様方にはご迷惑をおかけして、申し訳ございません。

糸瀬モーターズ

最初、その紙に書いてあることの意味がよくわからなかった。しばらく、ぼうっと立ちつくしていた。英治がどこかに行ってしまった……。

しだいに、おどろきが体の中を駆けめぐりだした。

② どうしよう……。

ぼくは公衆電話に走った。たしか交差点のそばに電話ボックスがあったはずだった。息が切れたけどそんなこと気にする余裕さえなかった。震える手で懸命に電話帳をめくり、正人の家の電話番号をさがした。幸い、これかとも思ってたのが、正人の家の電話番号だった。電話に出た家の人に、正人と代わってほしいと伝えた。正人なら、何か詳しいことを知っているはずだと思ったからだだった。

「英治の家が、英治の家が……。」

電話に出た正人に、ぼくはそう X まくしたてた。

③ 正人はぼくとは反対に、不思議なほど落ちついてた。

「今からそっちに行くけん、そこで待つとけよ。」

そう短くいうと、ぼくの返事も聞かないうちに電話を切った。正人も少しは Y うろたえていたのかもしれないとあとで思った。

自転車に乗り、正人はすぐにやってきた。

坊主頭だった髪が少しだけ長くなっていて、なんだかすごく大人びた感じがした。

「先週、英治から電話のかかってきた……。」

正人は道路から少し入りこんだところにある石段に座ると、ようやく口を開いた。

糸瀬モーターズのことを正人はもう知っていた。

この町ではその話はすでにうわさになっていた。島を離れていた自分だけが知らないことだった。

英治は父親に連れられて島を出ていた。ほとんど夜逃げ同然だったらしい。

「おやじさんの仕事のうまいかんごとになったらしか。それにおやじさん、なんやかんやでまいってしもうとったし、借金ばかり増えよるって英治がいいよった……。」

自分がこの島を出るということを、英治は正人に電話で知らせてきた。

「おれは島を出とうな。ばつてん(ばつ)、父ちゃんには、おれがそばに付いててやらんといかんけん。」

そう正人に話したそうだった。 II がつまった。

夏祭りの日、防波堤で聞いた英治のことばを思い出していた。

大事なもんにかぎって、すぐにどっかに行ってしまう……。

そう英治はいった。あんなつらいことばは聞いたことがなかった。

「おいもまさか、こがん早うに島ば出ていくとは思わんかった。そいけん、どこに行くとも聞かんままやった。ちようど父ちゃんと漁に行くところやったけん、あんまし時間のなかつた……。」

正人はくやしそうに舌打ちをした。

「英治のやつ、あんどき、おいばなぐったことばすごく気にしとった。そげんことはもうよかつていうたとに、あいつ、何度も何度も謝りよった……。」

きつと英治は、あのときのいざごぎをずっと後悔(こうかい)していたのだと思った。

「あいつ、知希のことば知りたがとつたぞ。どこに、おるとかなあつて……。たぶん、最後に会いたかったとやろうなあ。」
くやしくてたまらなかつた。

ぼくはそんな英治に、何も声をかけてやることができなかつた。何もしてやることができなかつた。

正人とぼくは、石段に黙(だま)って座りこんでいた。しばらくして、昼を知らせる役場のサイレンが聞こえた。

「おい、もう帰るけん。また船(ふね)に乗らんばいかん。悪かばつてん……。」

そういつて立ち上がった正人は、何か思いたしたようにぼくのほうを振り返った。

「英治のやつ、幽霊魚のことばまだ信じとつた……。幽霊魚のやつば捕(つか)まえたかつたって、最後においにいいよった。おいさあ、④ あいつの泣き声ば聞いたとは、はじめてやったなあ……。」

そういうと正人は自転車に乗った。そして、ゆつくりと来た道をもどっていった。

(中略)

昼を過ぎるころから、雨風はさらにひどくなった。

隠れ江かくえの船着き場はどうなってるのだろう……。

そのときぼくは、英治の釣り竿があつたままに置いておいたままになっていることを思いだした。

このままだと、この風雨でどこかにとばされてしまうかもしれない。

あの釣り竿まで、失いたくなかった。あれは、英治の思いのこもったものだったし、ぼくにとつても思い出のひとつだった。

雨雲あめぐもに覆おおわれて外は薄暗うすくらかったけど、出かけようと決心した。

レインコートを着こむと、自転車にまたがり一気に隠れ江に向かった。

五分も走らないうちに、レインコートの首筋や手首から雨が入りこんできた。海岸線を走る時には、激しい風で吹き飛ばされそうになった。

仕方なく自転車をおりて、身をかがめながら道路の端を歩いた。

隠れ江につくころには、もう体じゅうがぐっしり濡ぬれていた。それでもぼくは、かまわず雑木林の小道を進んだ。

隠れ江の様子を見たぼくは III がすくんだ。

船着き場の突堤は、流れこんできた海水にすっかり飲みこまれていた。もうそこは、荒れ狂あらくるう海の一部になってしまっていた。

あの釣り竿が、今も積み石の隙間にあるかどうかは、確かめようもなかった。

激しい風が吹きつけ、ぼくがいるところまで荒波あつなみが押しよせてきていた。足下の地面をけずりとりとうとする激しい海流に、後ずさりする

しかなかった。

そのときぼくは、渦巻うずまく海水の中に、何か黒い影かげのようなものが動いていることに気づいた。

あれって……。

そう思ったとたん体が震えだした。⑤ びしょ濡れの体が、興奮でほてっていくのがわかった。

たしかにこの海の荒れ方では、はっきりしたことはわからなかった。

でもぼくにはその黒い影が、小舟こぶねほどある巨大きょたいな魚に見えた。

幽霊魚だ……。

そいつのことをもつとよく見たかった。けれど、それ以上、近づくなつてことはとうていできなかった。風雨はさらに強まり、海水は荒々

しく波打っている。

ずっと目で追っていたはずなのに、その黒い影は急に見えなくなった。

波に飲みこまれたのか深みに消えたのか、その影はもう浮かび上がってこようとはしなかった。

⑥ びしょ濡れの体がどんどん冷えていった。くやしかったけど、今はもう、引き上げるしかなかった。明日だ。明日、もう一度来よう。

そうぼくは思った。あいつは、またここにやってくるはずだと勝手に思いこんでいた。

⑦ 待ってるよ、明日こそ……。

(福田隆浩^{たかひろ}『幽霊魚』による)

(注1) あの釣り竿…英治が隠れ江で幽霊魚を釣るために仕掛けている釣り竿。

(注2) 公衆電話…携帯電話が普及する前には、町中の電話ボックスに公衆電話があった。また、備え付けてある電話帳には、各家庭の電話番号が書かれていた。

(注3) 行くけん…方言で「行くから」という意味。以降、正人が話す文は方言が多くみられるので注意すること。

(注4) ばってん…方言で「けれども」という意味。逆接を表す。

問一 波線部 X・Y の言葉の意味としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

X まくしたてた

ア 積極的に言った
イ 命令的に言った
ウ 一方的に言った
エ 高圧的に言った
オ 具体的に言った

Y うろたえていた

ア 呆^{あき}れていた
イ 慌^{あわ}てていた
ウ 落ち着^あいていた
エ 我慢^{がまん}していた
オ 怖^{こわ}がっていた

問二 空欄 I～III に入る言葉を、次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

ア 耳 イ 鼻
ウ 歯 エ 首
オ 胸 カ 手
キ 腹 ク 足

問三 傍線部①「出かけてるんだろうか……」のように、「ぼく」は自分に語りかけながら、自分の気持ちを考えている。次の空欄 A・B

にそれぞれ漢字一字を入れて、このような「ぼく」のようすを表現する四字熟語を完成させなさい。

自 (A) 自 (B)

問四 傍線部②「どうしよう……」とありますが、この時の「ぼく」の気持ちを説明したものとしてみっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 英治のことが心配なので、早く電話をかけなければいけないと焦っている。

イ 英治が何も言わないまま、どこかに引越こしをしたことに動揺どうごうしている。

ウ 英治が釣り竿の仕掛けを自分のためにわざと残したことに困惑こんわくしている。

エ 英治に別れの言葉を言えないまま、別れてしまったことを後悔している。

オ 英治が隠れ江に釣り竿を忘れてしまったことに悩なやんでいる。

問五 傍線部③「正人はぼくとは反対に、不思議なほど落ちついてた」とありますが、正人と対照的な「ぼく」の様子が表現されている部分を二十字以上二十五字以内で探し、初めと終わりの五字を答えなさい。

問六 傍線部④「あいつの泣き声ば聞いたとは、はじめてやったなあ……」とありますが、この時の「正人」の気持ちを説明したものとしてみっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 英治に殴なぐられたが、男同士のけんかなので気にしていなかったのに、英治が泣くほど後悔していたので困っている。

イ 英治が知希とせつかく友達になれたのに、別れを告げることができないまま島を離れたことに同情している。

ウ 英治の泣き声を聞いたことがなかったが、泣いている理由が幽霊魚を捕まえたかたということに驚おどろき呆おぼろれている。

エ 英治の幽霊魚に対する気持ちを知ったので、幽霊魚を釣ることができずに島を離くれた悔くやしさに共感している。

オ 英治は自分が支えないとお父さんが生きていけないと思っていたので、二人だけで島を離れたことを心配している。

問七 傍線部⑤「びしょ濡れの体が、興奮でほてっていくのがわかった」・⑥「びしょ濡れの体がどんどん冷えていった」とありますが、この二つの表現から読み取れる「ぼく」の気持ちの変化について、解答欄に合うように、自分の言葉で説明しなさい。

問八 傍線部⑦「待ってるよ、明日こそ……」とありますが、この時の「ぼく」の気持ちを四十字以内で説明しなさい。

問九 本文の特徴を説明したものとして、不適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 「(かぎかっこ)」を用いずに「ぼく」の気持ちを表現することで、主人公の内面を効果的に描いている。
- イ 主人公の「ぼく」以外の登場人物に方言を用いることで、舞台が地方であることを際立たせている。
- ウ 登場人物の話す言葉を極端に少なくすることで、心情描写より情景描写を重点的に表現している。
- エ 心情描写や情景描写を細かく描くことで、登場人物がおかれている状況を読者にわかりやすく伝えている。
- オ 「……」を使って登場人物の心情をあえて表現しないことで、読者に登場人物の心情を想像させている。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

最近、フロンガスがオゾン層をこわすという話をよく聞きます。オゾンとは酸素原子が三個結合したもので、私たちが呼吸するのに必要な酸素分子の兄弟にあたります。このオゾンが、地上約三〇キロメートルの高度を中心に地球をぐるりと取りかこむように豊富に存在しているのです、これをオゾン層とよんでいます。豊富とはいっても、いちばん高いところでもすべての空気分子の百万分の一〇(一〇ppm)ていどしかなく、ましてこのような高い空の上のことですから、地上にいる私たちや海とはなんの関係もないように思われるかもしれません。しかし、オゾン層は地球に生命が存在することと切りはなしては考えられない存在なのです。①オゾン層は地上の生物には不可欠のものであり、また②生物活動の結果つくられたものでもあるのです。

太陽からは、目に見える可視光線とともに、紫外線や赤外線もやってきます。これらのうち可視光線はその多くが地上まで届き、地上の生物にいろいろな恩恵をもたらしますが、赤外線や紫外線の多くは途中でさまざまな大気成分に吸収されてしまいます。紫外線の場合は、波長の短いものから、まず酸素分子、つぎにオゾンによってⅠ吸収され、可視光線に近い残りのわずかな部分だけが地上に達します。もし波長の短い太陽紫外線が酸素やオゾンに吸収されることなく、そのまま地表に降りそそいだら、地上のほとんどの生命は死滅してしまうでしょう。それは、紫外線が、生命の基礎をつくっている遺伝子を破壊するからです。Ⅱさいわいにも、いま③私たちの頭の上にはオゾン層があつて、こうして豊かな自然がはぐくまれているというわけです。

オゾンはつぎのようにしてつくられます。太陽からの紫外線が酸素分子にあたると、酸素分子は二個の酸素原子に分かれます。これらの

酸素原子はひじょうに不安定で、周囲にある酸素分子とすぐに結合して、オゾンがつくられるというわけです。

オゾン層は、地球が誕生してしばらくは存在していませんでした。オゾンがつくられるようになったのは、光合成をする植物があらわれて、二酸化炭素から酸素分子をつくりだし、大気中に放出するようになってからのことでした。海洋生物が光合成をはじめ、やがて酸素分子が大気中に放出されるようになると同時に、紫外線がさしこむ地表付近にオゾンがつくられたはずですが、当時の地表の環境は、生物を海から迎えられるには、あまりにも過酷なものだったにちがいません。^④紫外線はようしやなく降りそそぎ、地表近くにできたオゾンもまた有毒であったからです。大気中の酸素量自体もまだ十分なものではありませんでした。

ところが、しだいに酸素の量がふえるとともにオゾンの量も増加し、しかもオゾンのつくられる高度は地表をはなれて上昇していきました。オゾンをつくるのに必要な紫外線が、酸素分子やオゾン自身の増加で、低い層まで届きにくくなったためです。こうして、現在のような高度にオゾン層がつけられ、紫外線の侵入を防ぐことで、海から地上へと生命の進出を可能にしたのです。豊富な酸素に、紫外線から地上の生命を保護しているオゾン層、これらの環境をつくりだしたのは、海を母胎とする生命自身であったわけです。

さて、^⑤オゾンは酸素分子と紫外線からつくられることをお話ししましたが、ことはそう単純ではないことがわかってきました。大気中には、窒素や酸素のほかにも数多くの大気微量成分とよばれるものが含まれており、それぞれが、いろいろな形でオゾン層に影響をあたえているのです。地表や海面から放出される亜酸化窒素、メタン、水蒸気、塩化メチルなどの大気成分は、^⑥成層圏で分解して窒素酸化物、水素酸化物、塩素酸化物をつくり、いずれもオゾンにはたらきかけて、その濃度を低めるように作用しています。

紫外線は生物にとってまったくの悪者ではなく、人間の体内でビタミンDの生成をうながすように、適量ならばつごうのいい、それどころか必要なものなのかもしれません。そして大気微量成分が、オゾン層をちょうどよい厚さに調節しているようにも見えます。しかも、大気成分の多くは生物活動によってつくられています。亜酸化窒素は土中や海中のバクテリアの作用で、メタンは湿地などの嫌気性の微生物のはたらきで、さらに海洋から出ていると見られる塩化メチルも海洋生物のはたらきに関係しているといわれます。そこで、地球上の生命が、自らの生存環境にもつごうのいいように、^⑦大気成分の放出をコントロールしているのではないかと考えます。

フロンによるオゾン層の破壊という問題は、絶妙に保たれている自然界のバランスを、人間のつくった化学物質が突然かきみだそうとしていることなのです。万一、オゾン層がこわれるということになれば、^⑧生命はふたたび海の中にもどっていくことになるのでしょうか。そのような日にくることのないよう、私たちは、海洋から生まれ育った^⑨生命とオゾン層の不思議な関係をもう一度見つめていくべきなのでしょう。

(関文威・小池勲夫『海に何が起こっているか』による)

(注1) 酸素分子の兄弟：酸素分子は酸素原子二つでできている。オゾン^{オゾン}は酸素原子三つでできている。

(注2) 遺伝子^{さいぼう}：細胞内にあり、遺伝情報になっている。

(注3) 亜酸化窒素、メタン、水蒸気、塩化メチルなど：いずれも空中にある気体の種類。

(注4) 成層圏：高層大気の一つ。対流圏の上であり、地上十〜五十kmの大気の層。

問一 波線部「豊富」の「豊」と「富」のように同じような意味の漢字を組み合わせた熟語でないものを次の中から三つ見つけて、記号で答えなさい。

ア 存在	イ 増加	ウ 地表	エ 結合	オ 波長
カ 吸収	キ 放出	ク 海中	ケ 分解	コ 海洋

問二 傍線部①「オゾン層は地上の生物には不可欠のもの」とありますが、その理由としてもっとも適当なものを、次の中から選んで記号で答えなさい。

ア オゾン層が生物の生存に必要な酸素を作り出すはたらきがあるから。
イ オゾン層は生物の体を作り上げるのに必要な物質を作るから。
ウ オゾン層は豊かな自然をはぐくみ、生物の生存に寄与^{きよ}するから。
エ オゾン層がフロンガスとともに生物の生存に係^かるから。
オ オゾン層は生物にとって地表にあると有害なものであるから。

問三 傍線部②「生物活動」に当たるものを、本文中の言葉三字で抜き出しなさい。

問四 傍線部③「私たちの頭の上にはオゾン層があつて、こうして豊かな自然がはぐくまれている」といえるオゾン層の働きの具体例を二つ、それぞれ十字以内で答えなさい。

問五 傍線部④「紫外線はようしゃなく降りそそぎ」とありますが、降りそそぐとどうなりますか。本文中の言葉を使って、三十字以上四十字以内で説明しなさい。

問六 傍線部⑤「オゾン」は酸素分子と紫外線からつくられる」とありますが、その手順を説明しなさい。ただし、「紫外線が」で書き始め、「酸素分子」「酸素原子」を使って、五十字以内で説明しなさい。

問七 傍線部⑥「大気成分の放出をコントロールしている」とありますが、「コントロール」とは具体的にはどのようなことを指していますか。それを本文中から探し、二十字以内で抜き出しなさい。

問八 傍線部⑦「生命はふたたび海の中にもどっていくことになる」とありますが、このように考えられる理由としてもっとも適当なものを、次の中から選んで記号で答えなさい。

ア オゾン層が破壊されると紫外線の量が増え、地球上の生命は死滅してしまうから。

イ オゾン層の破壊が生物を退化させ、地表に住めない時代に^{もど}戻ってしまうから。

ウ オゾン層が破壊され酸素の量が増え、海の中でも生命が豊かになっていくから。

エ オゾン層の破壊が地表の環境を悪化させ、生命が地表に住めなくなるから。

オ オゾン層の破壊が自然界のバランスを崩^{くず}し、地上でも海中でも等しく生物が死滅するから。

問九 傍線部⑧「生命とオゾン層の不思議な関係」に^あて^はま^らないものを、次の中から選んで記号で答えなさい。

ア オゾン層が紫外線の害から、地球上の生物が死滅しないよう守っている。

イ オゾン層がなくなること、だんだんと地表に生命が住めない時代に戻ってしまう。

ウ オゾン層は生命に有害なものに^{ちが}違^いないが、それによって生命が守られている。

エ オゾン層は地表の環境を保ち、生命が地表に住めるようにしている。

オ オゾン層は生命活動が作り出し、また破壊するというふう^{はな}に生命と切り離^{はな}されない関係である。

問十 二重傍線部Ⅰ・Ⅱの言葉はそれぞれどこにかかりますか。もつとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

Ⅰ「吸収され」

ア 可視光線に イ わずかな ウ 部分だけが エ 地上に オ 達します

Ⅱ「さいわいにも」

ア 私たちの頭の上には イ オゾン層があつて ウ 豊かな自然が
エ はぐくまれていると オ いうわけです

三

次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① 新製品を発売前にケンサする。
- ② 良いアイデアをサイヨウする。
- ③ 生長した木にはネンリンが見られる。
- ④ 春になると木々のワカバが美しい。
- ⑤ 今年の夏は特にアツい日が続いた。

②×5 ②×2 ④ ③ ④ ⑥ ⑥ ③×2 ③ ③ ②×3 ④ ⑥ ⑩ ④ ④ ④ ③ ②×3 ②×2

完答

①	問十	問九	問八	問七		問六			問五		問四		問三	問二	問一	
検査	I	イ	エ	節	オ	の	子	紫	が	い	紫	二	一	光	ウ	ウ
	オ			し	ゾ	酸	に	外	生	る	外	点	点	合		
②	II			て	ン	素	分	線	存	遺	線	大	紫	成		
採用	イ			い	層	原	解	が	で	伝	が	気	外		ウ	オ
				る	を	子	し	酸	き	子	、	微	線			ク
③				ち		が	、	素	な	を	生	量	を			
年輪				よ		結	他	分	く	破	命	成	吸			
				う		合	の	子	な	壊	の	分	収			
				ど		す	酸	を	る	し	基	と	す			
				よ		る	素	ニ	。	、	礎	の	る			
				い		。	分	つ		全	を	関				
④				厚		子	の		て	つ	係					
若葉				さ		と	酸		の	く						
				に		一	素		生	っ						
⑤				調		っ	原		物	て						
暑(い)																

問九	問八			問七					問六	問五	問四	問三	問二	問一						
ウ	意	幽	英	興奮がさめて冷静になった 幽霊魚を見失ったことで、 傍線部⑥では、 気持ちが熱くなっている 幽霊魚を見つけたことで、 英治の話が本当だと分かり 傍線部⑤では、 。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。						
	。	霊	治												工	息	イ	A	I	X
		魚	の													が		問	エ	ウ
		を	思													切		B	II	Y
		釣	い													れ		答	オ	イ
		り	を													た				
		あ	受													く				
		げ	け													な				
		る	継													か				
		と	い													っ				
		い	で		た															
		う	、		。															
		強	必																	
		い	ず																	
		決	や																	

国語

解答用紙

注意
一字数制限の問題では、句読点も

受験番号	フリガナ	
	氏名	

得点	
----	--